

平成29年度地域資源レポート募集テーマ

平成29年度の募集テーマは、「あなたのまわりの“季節を感じる”もの」、「まちで見かけた“時代を感じる”もの」、「あなたのまちの“奇祭・奇習”」の3本です。

あなたの日常にあるものが、活用次第で地域の魅力を大きく向上させる可能性を秘めています。これまで気づかなかった、思いがけない津軽を見つけてください。

報告例1

平成29年度「地域資源特派員事業」レポート
☑「あなたのまわりの“季節を感じる”もの」

投稿日 平成29年 〇〇月〇〇日

特派員 No.00 氏名・ペンネーム 資源 大介

先日、弘前市の北大通りを歩いていたら、中央分離帯にラベンダーが咲いていました。近くで見ると、紫の長いカーペットの上にいるような不思議な気持ちになりました。夏を感じさせる光景を発見できました！



報告例2

平成29年度「地域資源特派員事業」レポート
☑「まちで見かけた“時代を感じる”もの」

投稿日 平成29年 〇〇月〇〇日

特派員 No.0△ 氏名・ペンネーム 広域の星

黒石市のこみせ通りで、歴史を感じるポンプ車（消防車）に出会いました。現役で活躍するポンプ車の中では、日本最古なんだそうです。（昭和45年納入）珍しいボンネット式でビンテージカーとしての貫録が伺えます。



報告例3

平成29年度「地域資源特派員事業」レポート
☑「あなたのまちの“奇祭・奇習”」

投稿日 平成29年 〇〇月〇〇日

特派員 No.0□ 氏名・ペンネーム 域連 花子

毎年旧正月に裸参り（はだかまいり）が行われる鬼神社の水垢離（みずごり）の様です。刺す様な寒さの中、勇敢な男性40名ほどが、何度も、何度も入れ代わり身を清めます。気合…？ 悲鳴…？ 驚嘆するばかりです。



～「あなたのまちの“奇祭・奇習”」とは？～

私たちの住む圏域市町村には、圏域外から見た場合、たくさんの“奇祭”（独特の習俗を持った風変わりな祭り）や“奇習”（珍しい風習）があります。

例えば、ねぶた祭りや各地区の宵宮を初めとして、弘前市鬼沢地区の裸参り、黒石市の大川原の火流し、平川市の七日堂祭などが、“奇祭・奇習”にあたると思います。また古くから伝わる習慣では、こぎん刺し、津軽一代様、一升餅など身近な習慣風俗があります。

津軽広域連合では、こういった圏域の各市町村、各地区・町会によって、その土地ならではの、様々な祭り・イベント・習慣・風俗を、圏域内外に情報発信・紹介することによって、保存・伝承や住民相互の交流の促進を促していきたいと思っています。

【奇祭・奇習例】



藤崎町常盤地区
：年縄奉納裸祭



大鰐町早瀬野地区
：石ノ塔登山